



長崎式見港線

安全で快適なみちづくりのために

長崎県道路舗装維持管理計画



国道204号・佐世保市役所前



長崎県

土木部 道路維持課

Nagasaki
Prefectural
Government

○「長崎県道路舗装維持管理計画」の改訂を行いました。

第二期計画について

本計画は、中長期にわたる道路舗装の安全性と快適性の確保、ライフサイクルコストの縮減を踏まえ、効率的・効果的な維持管理を目的に「長崎県道路舗装維持管理計画検討委員会」（委員長：長崎大学・蔣宇静教授）において、平成 21 年 3 月に第一期計画を策定したものです。

第二期計画は、平成 21 年度以降の点検データを用いて第一期計画の検証を実施し、劣化予測モデルを見直しました。また、舗装の延命化とコスト縮減等を図るため、シール材注入等の予防的修繕工の適用を第二期計画より新たに導入しました。

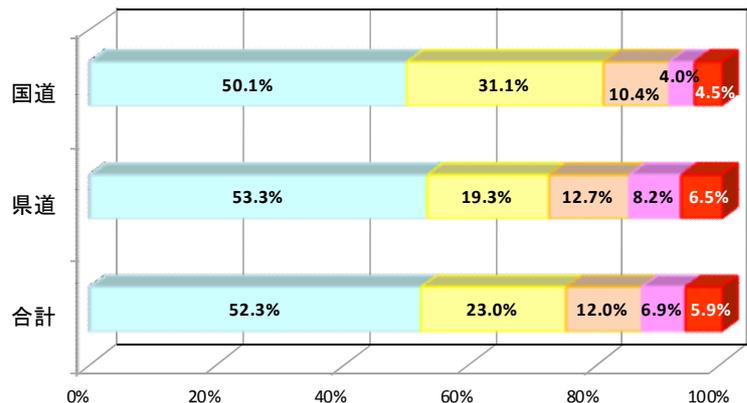
長崎県の舗装の現状

長崎県は、国道と県道をあわせて、約 2,450km（国道：763km、県道：1,687km）の道路を管理しています（平成 26 年 4 月 1 日現在）。舗装の損傷状態を指標で表すと、損傷がある程度進んだ状態（健全度 D）は全体の約 7%、損傷が著しい状態（健全度 E）は全体の約 6%であり、現在、解消に努めている状況です。

路面の健全度と損傷状態

健全度ランク	路面の状態
健全度 A	舗装が新しく望ましい状態
健全度 B	舗装は新しくないが望ましい状態
健全度 C	一部損傷がある状態
健全度 D	損傷がある程度進んだ状態
健全度 E	損傷が著しい状態

長崎県の道路舗装の状態（平成 25 年度末）



健全度状況写真



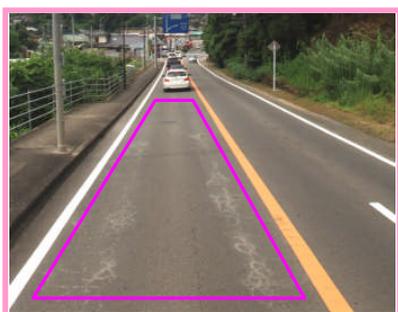
【健全度 A の状況】
舗装が新しく望ましい状態



【健全度 B の状況】
舗装は新しくないが望ましい状態



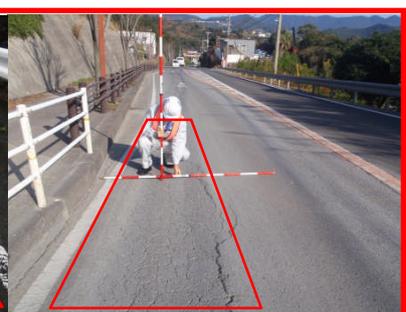
【健全度 C の状況】
一部損傷がある状態



【健全度 D の状況】
損傷がある程度進んだ状態



【健全度 E の状況】
損傷が著しい状態



維持管理の取り組み方針

■ 管理目標と管理方針

適切な維持管理を進めていくための取り組みとして、管理目標と道路の特性に応じた管理方針を設定し、計画的かつ効率的な舗装補修を実施します。

長期的目標：計画的・予防的補修を実施し良好な舗装状態（達成率 90%以上）を確保する
短期的目標：早急な補修が必要な箇所を重点的に行い健全度Eを解消する

✚ 管理方針

道路の特性	管理方針	補修目安
● 地域高規格道路 【長崎南北幹線道路、島原道路など】	・高速走行での安全性、快適性の確保（排水性舗装の適用） ・乗り心地よく荷傷みの少ない走行性の確保 ・交通渋滞改善のための耐久性の確保	健全度 C
● 交通量が多い道路 【国道 202 号（長崎市）、国道 204 号（佐世保市）、国道 207 号（諫早市）など】	・安全性、快適性の確保 ・乗り心地よく荷傷みの少ない走行性の確保 ・交通渋滞改善のための耐久性の確保 ・歩行者および沿道住民の環境保全※ ¹ ・都市景観を考慮した舗装施工※ ¹	健全度 D
● 交通量が比較的多い道路 【上対馬豊玉線（対馬市）、平戸田平線（平戸市）佐世保吉井松浦線（松浦市）など】	・安全性、快適性の確保 ・乗り心地よく荷傷みの少ない走行性の確保	健全度 E
● 交通量が少ない道路	・安全性の確保（局所的な損傷による事故の防止） ・舗装の延命化（局所的補修）	※ ²

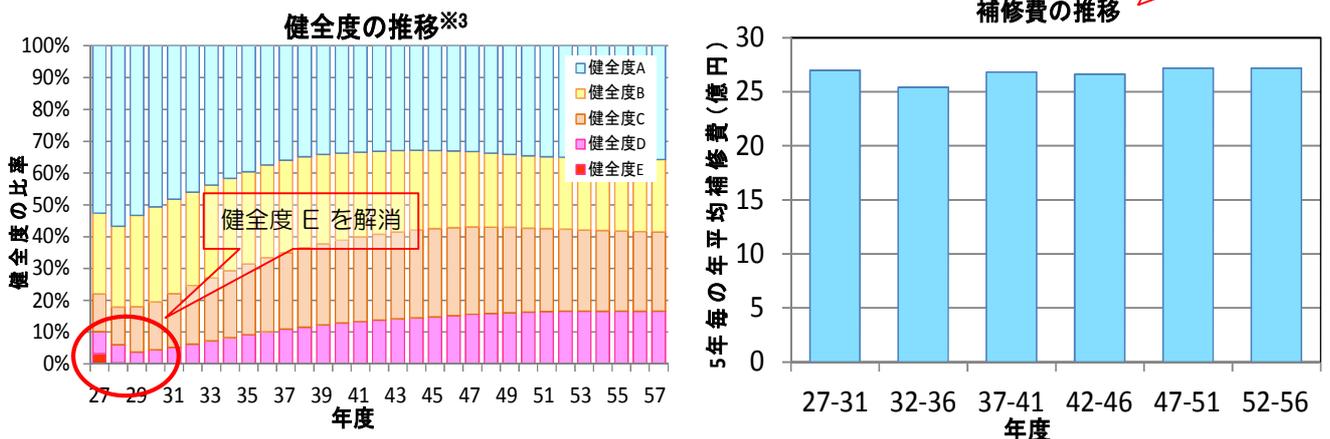
※¹ 4,000 人/km² 以上かつ 5,000 人以上の規模の人口集中地区に適用。
 ※² パトロールなどで発見した損傷を対処療法的に補修。

■ 補修計画

ひび割れやわだち掘れの損傷の進行を、交通量や補修工法別に劣化モデルを見直して将来の劣化を推計し、安全で快適な舗装の維持を図るための最適なライフサイクルコストとします。

- ・道路特性に応じた道路区分の見直しを行い、管理方針に沿った舗装補修を行います。
- ・健全度 E の舗装を平成 30 年度までに解消します。
- ・一層の延命化やコスト縮減を図るため、シール材注入等の予防的修繕工を導入します。

○ 長期予算計画（シミュレーション結果）

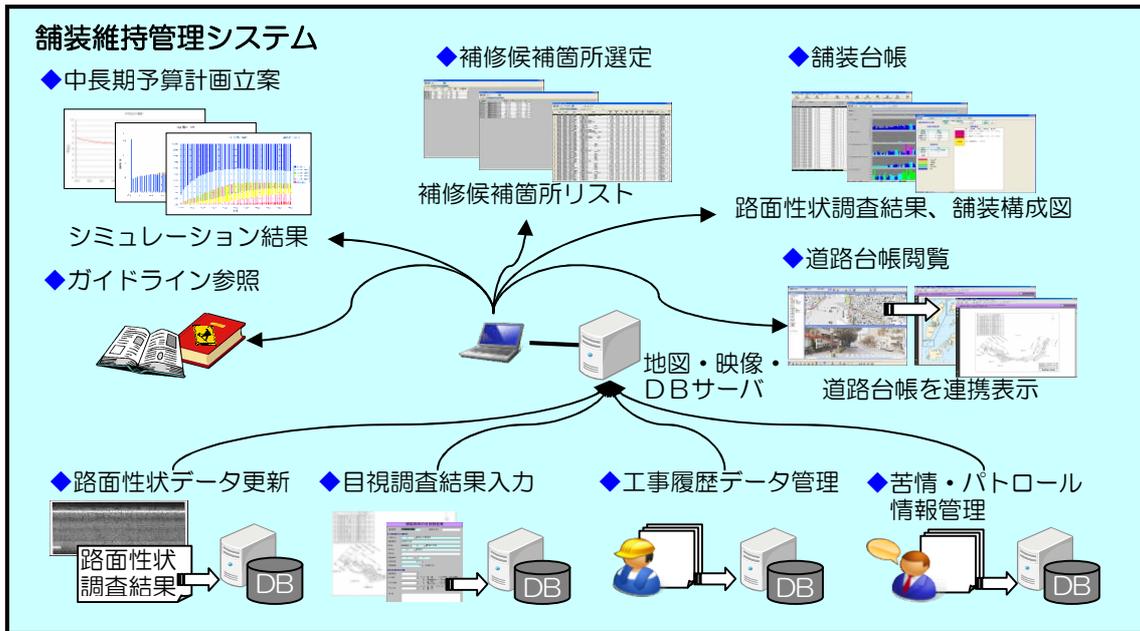


※³ 「交通量の少ない道路」については含まれておりません

舗装維持管理システムの導入

IT 技術を用いた高度なデータ管理体制

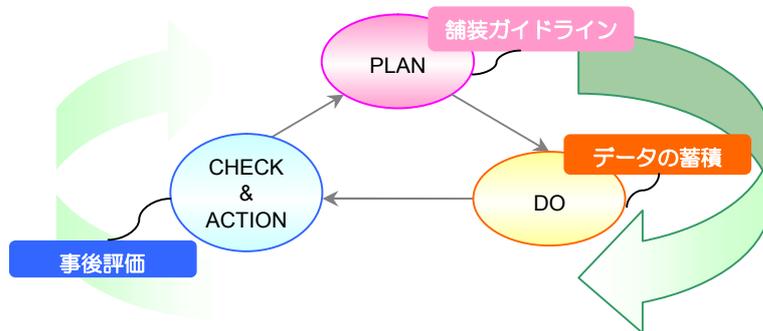
維持管理に係わるデータ（舗装の現状、工事の履歴等）を管理し、今後の舗装補修を計画的、効率的に推進していくため「舗装維持管理システム」を活用しております。当システムは、舗装台帳としての機能のほか、予算計画、調査・補修計画などの立案やその他の施設管理との連携を可能としております。



継続的な取り組みによる改善

舗装の管理状態を定期的にモニタリングするとともに、PDCA サイクル（PLAN（計画）→DO（実行）→CHECK&ACTION（評価・改善）」にて事業の事後評価を行っています。

🚧 継続的な取り組みによる精度向上



長崎県 土木部 道路維持課

〒850-8570 長崎市江戸町 2-13 TEL 095-825-0504（直通）FAX 095-820-0683

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/section/doroiji>